

旅行 EDI 研究会参加報告

- 名称：2012 年度第 1 回旅行 EDI 研究会
- 日時：平成 24 年 4 月 26 日（木）13:00～17:30
- 場所：サーブホテル会議室
- 参加目的
 - ・ UN/CEFACT や AFACT での観光情報の標準化動向の調査
- 主な議事
 1. 新年度の旅行 EDI 研究会の進め方と事業展望
JTREC 理事長 石原 直 13:30～14:00
 2. 国連 CEFACT フォーラムジュネーブ会議の報告と SLH 予約情報の扱い
JTREC 専務理事 鈴木耀夫 14:00～14:30
 3. SLH 商品登録 SYS の概要とその特徴
JTREC 理事 松岡道展 14:30～15:15
 4. Roombank の利用条件と JTREC の取組み
JTREC 理事 中村秀夫 15:15～15:45
 5. その他 15:45～16:00
 6. 記念講演 16:00～17:30
IBM が提唱する Smarter Commerce、観光の視点で活用を考える
日本アイ・ビー・エム株式会社執行役員経営品質・社長室担当 江口昌幸氏
- 所感
 - ・ AFACT では、日本の観光情報が欲しい、日本へ行きたいというニーズが強いとのこと
 - ・ 日本人の海外旅行は、団体から FIT へ 30 年を要したが、アジア諸国の場合、非常に早いスピードで FIT に移行する。もしくは既に FIT 中心である。
 - ・ JASTPRO(日本貿易関係手続簡易化協会)の下に AFACT 旅行関連日本部会を作って活動している。
 - <http://www.jastpro.org/un/afact.html>
 - <http://www.jtrec.org/afact.htm>
- 参考 URL
 - ・ <http://www.jtrec.org/meeting.htm>